

佐賀県訪問看護ステーション連絡協議会
研修委員会・情報交換企画運営委員会・広報委員会 合同委員会 議事録

令和5年3月15日（水）19:00～20:30 佐賀メディカルセンター4階会議室

参加：南里、秋葉、片桐、堀口、中富、松永、野中、吉井、瀬戸口、浦方

司会：秋庭 書記：松永

※18:30～19:00 各委員会開催し実績をまとめる。

1. 令和4年度各委員会活動実績について

研修委員会：BCP研修は非常に良かった。スタッフを巻き込んで皆で作成していくことなど実施することが具体的に理解できた。

3月のテンプレートが発表されたら早速取り掛かっていただきたい。来年度はハラスメント研修会と事例検討会を考えている。診療報酬改定に関しては令和6年度に計画したい。

情報交換企画運営委員会：今年度はコロナの影響で管理者交流会は実施できなかったが、総会後の研修会後、意見交換会は実施できた。支部活動は確立し計画、実績報告を行った。来年度は是非管理者会を実施し顔合わせをしたい。合同委員会の内容や研修報告を支部につなぐ。医師会の中に協議会があるので各支部活動も各郡市医師会に協議会を認知して理解していただく機会を持てるように検討し繋がりが持てるようになればいい。

広報委員会：ホームページ作成後更新がなかなか出来ていないが研修や会議の報告などは掲載している。協議会の入会勧奨について110事業所中64事業所が加入。今後も入会勧奨を継続していく。

2. 令和4年度各地区支部活動実績について 報告書参照

中部地区3回実施・・・リハスタッフを交えた「交流会」を実施、精神専門STからの出席もあり有意義であった。

北部地区1回実施・・・管理者意見交換会を実施。2回の予定が体調不良での出席者が多く、1回しか実施できなかった。

東部地区3回実施・・・「虐待防止マニュアル」作成 仕上げる事ができた。管理者間の顔の見える関係ができた。

西部地区4回実施・・・「訪問看護サービスガイド」作成 他職種に配布予定（今後、活用させていただく。）

南部地区3回実施・・・「ハラスメント対応マニュアル」作成 管理者間の連携が図りやすくなった。

3. 令和4年度第3回講演会（令和5年2月18日）について

BCPの講義はとても良かった。連絡の取りにくい講師であったが今回は短時間コースでお願いしたが、今後も進み方次第で講義をお願いすることもできると思います。

4. 非会員への入会勧奨について

110事業所中64事業所が加入 新年度に入る予定の事業所もある。今後も入会勧奨を続ける。

5. マニュアル作成の進捗状況について

「高齢者虐待防止マニュアル」「ハラスメント防止マニュアル」について気づいた点は 中富、

松永まで連絡していただく。

役員会・総会で承認を受けた後に、会員へ配布、協議会ホームページの会員専用ページに掲載する予定。

6. 佐賀県難病対策協議会（3月9日）について報告 出席：中富

各地区の保健福祉事務所の難病対策担当者からの報告があった。各地区で対応が違う。難病対策と小児慢性疾患対策の担当の課が違うので医ケア児が難病に入っていない。しかし難病対策協議会には小児科医の出席があった。

難病の患者に対する医療等に関する法律の一部改正について

症状が重症化した場合に円滑に医療費支給を受けられる仕組みの整備（令和5年10月1日～）

医療費助成の開始時期・重症度分類を満たしていることを診断した日（重症化時点）とする。

（現在は申請日から）

申請日からの遡りの期間は原則1か月とし入院その他緊急の治療が必要であった場合等最長3か月

難病患者等の療養生活支援の強化

①福祉、就労等の各種支援を円滑に利用できるようにするため「登録証」を発行する事業を創設。（マイナンバー連携による照会を原則）令和6年度～

②難病相談支援センターの連携すべき主体として福祉関係者や就労支援関係者を明記。

難病協議会と同様に小慢の地域協議会を法定化した上で難病と小慢の地域協議会間の連携努力義務を新設

今後、難病対策地域協議会（8割設置）と小児慢性特定疾病対策地域協議会（6割設置）は相互に連携を図るように努める事。（令和5年10月1日施行）

※難病でもない小慢でもない利用者がいるので、訪問看護に尋ねてもらいたいと言っている。

※個別避難支援計画作成が進んでいるが、その計画書は主治医にも渡してもらうようにしてほしい。災害時にどこに避難しているか知らせてほしいとの事。

7. 次回委員会について

令和5年5月17日（水）19:00～

8. その他

特別支援学校の看護師が不足しているので、誰かいないかというお尋ねがあったが、不足している原因を考え、病院やステーションとの連携を強化していく仕組みを考えていく事も大事だと思われる。学校看護師の置かれている立場や教育の機会を作るなどの対応を行政に考えていただきたい。特別支援学校への通学について医ケア児が断られる事例がある。看護師不足が理由なのかわからないが、それでいいのか言い続けることも大切である。

幼稚園への訪問看護師の派遣費用を出すところもある。県なのか市町なのかかわからないが今後訪問看護の可能性を広げていく機会にもなると思うので、今年度依頼を受けてみようと思っている。

以上